

卒業生アンケートのまとめ

(平成23年度卒業生；平成26年度末に実施)

今回のアンケート対象となったのは、平成23年度理学部卒業生である。アンケートは、平成26年12月20日に郵送し、1月末締め切りで返信を依頼した。

平成23年度の卒業生は270名であり、そのうち27名から回収され、回収率は10%であり、昨年度(11.6%)とほぼ同程度であった。回収数が少ないため、学部全体のデータを検討した。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析

今回からアンケート内容を大幅に変更し、自由記述の項目を増やした。そのため昨年度までのデータの比較をすることができなくなったが、自由記述で多くの貴重な意見をお聞きすることができたと感じる。

今回のアンケートについて答えていただいた方は現在四国以外に住んでいる人が78%と多かった。「4. 高知大学理学部で学んだことが現時点で役に立っていますか？」という質問に対しては肯定的意見が60%、否定的意見が40%であった。回収率が低いので何とも言えないが肯定的意見が少々低いと感じる。肯定的意見をお持ちの方に具体的にどのような役立っているかについての記述もある。

「6. 高知大学在学中に学んでおけばよかったと思うことはありますか？」という質問に対しては52%の人が「ある」と答えており、その具体的な内容についても記述していただいた。分野により様々な意見があるが、英語をきちんと学んでおけばよかったと思っている人も何人かいた。

「8. 現時点で考えて理学部で開講してほしかった授業はありますか？」という質問に対しては「ある」と答えた方が30%ほどいた。開講してほしかった授業についての記述もしてもらった。これも人によりさまざまである。

最後に「10. 卒業後3年が経過した現時点で考えて、高知大学理学部で学んでよかったと思いますか？」という質問に対しては全員が肯定的に回答していた。

最初にも述べたが、今回は自由記述欄を増やしたおかげでいろいろな方から様々な意見を聞くことができた。これらの意見を今後の理学部の教育に生かせるようにしたい。回収率は依然として低迷している。アンケートをより有意義なものにするために今後も様々な方法を考え、回収率のアップを図りたい。

Ⅱ. 集計結果

1. あなたの所属していたコースを下記より選んでください。

- A. 数学コース B. 物理科学コース C. 化学コース D. 生物科学コース
E. 地球科学コース F. 情報科学コース G. 応用化学コース
H. 海洋生命・分子工学コース I. 災害科学コース

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	計
卒業者数	59	18	14	55	20	19	29	35	21	270
回収件数	8	1	1	8	1	4	1	3	0	27
回収率(%)	14	6	7	15	5	21	3	9	0	10

2. あなたの現在の職種(大学院等で学んでいる方は学年)をお教えてください。

○数学

- ・教員
- ・事務職
- ・S E
- ・教師（講師）
- ・営業職
- ・教員
- ・（公立）中学校臨時講師
- ・金融
- ・システムエンジニア

○物理科学

- ・S E

○化学

- ・家政婦

○生物科学

- ・国家公務員
- ・サービス業
- ・特殊メイクアーティスト
- ・教諭
- ・地方公務員
- ・会社員
- ・塾講師

	A	B	C	D
数学コース	1	5	2	0
物理科学コース	0	1	0	0
化学コース	1	0	1	2
生物科学コース	0	2	3	0
地球科学コース	0	0	1	0
情報科学コース	0	2	2	0
応用化学 コース	0	1	0	0
海洋生命・分子工学 コース	3	0	0	0
災害科学コース	0	0	0	0
合計	5	11	9	2
合計 (%)	19	41	33	7

5. 4でAもしくはBと答えた方にお聞きします。具体的にはどういうことが役に立っていますか？

○数学

- ・教職員課程の学習内容等
- ・数学的な雑談。情報学的な雑談。(話のネタ)
- ・仕事には役に立っていないが、好奇心として役に立っている。
- ・数学の専門知識をつけて、今の職業に携わることができています。
- ・数学的な思考が仕事のうえで役に立っています。

○物理科学

- ・忍耐、我慢、努力は他人の為ならず

○生物科学

- ・教養での地震防災学、生物学の生態の植物植生
- ・生物学についての知識と実習での経験を授業で活かしています。また、職場にパソコンを使える人が少ないので、パソコンに関する知識や技術も役に立っています。

○情報科学

- ・考え方は大学で培ってきたものだと思う。知識がもっと必要だった。
- ・研究室で学んだ知識を活かせる部分があるため。
- ・学部・大学院で学んだ知識、またプレゼンの方法や実験に関することなど、幅広く現在の職業で活かすことができています。

○応用化学

- ・専門科目の基礎知識が身についた

○海洋生命・分子工学

- ・基礎的な科学知識、問題解決へのアプローチ方法等
- ・自分で考えて、実行しようとする力が身に付きました。

6. 高知大学在学中に学んでおけばよかったと思うことはありますか？

- A. ある B. ない

	A	B
数学コース	3	5
物理科学コース	1	0
化学コース	2	2
生物科学コース	2	3
地球科学コース	1	0
情報科学コース	1	3
応用化学 コース	1	0
海洋生命・分子工学 コース	3	0
災害科学コース	0	0
合計	14	13
合計 (%)	52	48

7. 6で「ある」と答えた方にお聞きします。具体的にはどのようなことでしょうか？

○数学

- ・他学部下開講の基礎講座等（教養の幅を広げられること）
- ・教育の基礎知識。また授業の指導案づくり。教材研究など。
- ・情報系の知識についての授業をうけておくべきだったと思います。

○物理科学

- ・社会生活、時間の作り方、上手い嘘の吐き方、断り方

○化学

- ・税金について

○生物科学

- ・外国語（特に英語）、IT関連資格につながるもの。
- ・南溟寮で過ごして、良き友、後輩を得たこと
- ・生物学以外の他の科学分野についてもっと学んでおけばよかったと思います。

○地球科学

・測量等の技術に関する授業

○情報科学

・社会人としてのマナーなど

・私は理学部でしたので、どうしても興味のある理系科目の授業を多く履修していました。

・社会人になった今、経済学など他分野の授業も履修しとけば

○応用化学

・英語の授業をもっと受けていれば良かった

○海洋生命・分子工学

・専攻分野以外の知識、司法書士、会計士等の資格取得等

・高知の文化や産業。アルバイトなどを通じた高知の人々とのコミュニケーション。

8. 現時点で考えて理学部で開講してほしかった授業はありますか？

A. ある

B. ない

	A	B
数学コース	1	7
物理科学コース	0	1
化学コース	2	2
生物科学コース	1	4
地球科学コース	1	0
情報科学コース	1	3
応用化学 コース	1	0
海洋生命・分子工学 コース	1	2
災害科学コース	0	0
合計	8	19
合計 (%)	30	70

9. 8で「ある」と答えた方にお聞きします。開講してほしかった授業の内容について、具体的に記述してください。

○数学

・指導案の作成練習

校種別模擬授業

○生物科学

・危険物やFPのような資格取得講座。

・農学部で開講しているもの。

・科学史や科学哲学など、自然科学を学ぶ上で基礎となる部分を学びたかったです。

○地球科学

・測量等の授業（農学部でしか開講していなかったため、受講できなかった）地球科学コースで、測量士関係の資格を取得できればよかった。

○情報科学

・工学的な講義、工学部がないため、工学部の内容にも少し触れ、理学部と工学部の差異を明示するような講義がしてほしかった。

○応用化学

・英語に力を入れてほしいので **Writing, Reading** 等の科目をいれてほしい。

○海洋生命・分子工学

・他大学が海外の先生方を招いたオムニバス形式で、現時点での科学の発展や今後の展望などを議論できるような授業を開講してほしかったです。

私的ですが、コースの専門科目をもう少し増やして欲しかったです。

10. 卒業後3年が経過した現時点で考えて、高知大学理学部で学んでよかったと思いますか？

A. とてもよかったと思う

B. おおむねよかったと思う

C. あまりよかったとは思わない

D. よかったと思わない

	A	B	C	D
数学コース	5	3	0	0
物理科学コース	1	0	0	0
化学コース	0	4	0	0
生物科学コース	3	2	0	0
地球科学コース	0	1	0	0
情報科学コース	1	3	0	0
応用化学 コース	0	1	0	0
海洋生命・分子工学 コース	3	0	0	0
災害科学コース	0	0	0	0
合計	13	14	0	0
合計 (%)	48	52	0	0

11. 理学部の今後の教育や果たすべき役割について何かご意見がありましたらお書きくだ

さい。

○数学

- ・県外からの入学生が多いため、全国で活躍できる人材の育成、全国で通用する専門知識等。
- ・〇〇先生 大変お世話になりました。これからの先生のご活躍を、ご健康をお祈りします。

○生物科学

- ・倫理や道德の向上による、学生の刑事事案防止。学内での不祥事案に対する監査役。
- ・私は大学院の修士課程を昨年修了したが、研究者ではいられなかった時間の方が多い。学生はその多くを就職活動に時間を求められる。大学は教育機関であり、研究者の育成場ではなかっただろうか。人材排出の目的が本来あるべき姿と変わっていないだろうか。現在、大学が必要としているのは、内定を多く獲得する就活生か、唯一の研究ができる研究生のどちらだろうか。点数をつけるのは勝手に、安易だが、点数だけで測ることができるなら、どれ程楽なものか。前置きが長くなったが、人間を育てる気がないだろう。

○情報科学

- ・文系、理系問わず多くの学生が興味をもてるような研究、授業を理学部で行っていただきたいです。

今後の高知大学理学部の発展を楽しみにしております。

○応用化学

- ・理学部は、科学の基礎を学ぶ学部であると考えているので、その点に関しては、概ね整っていたと思う。

しかし、同時に現代はグローバル化が進んでいるため、英語にも力を注いでほしいというのが卒業生としての私の意見です。

人文学部等に英語関連の授業はありましたが、必修ではなく、あまり重要視されていなかったため、理学部ならではの英語の講義を導入してほしい（講義で英語を行うなど）

世界で活躍できるような後輩が多く輩出されることを願います。

○海洋生命・分子工学

- ・自ら学び、考え、自身の考えを、論理的に構築できる人材の輩出に期待している。
- 理学部ですので、物事をよく考えて、本質を理解し、自らの考えを伝える力をつける教育が大事であると思います。

また、科学の原理を明らかにするだけでなく、それをいかに応用、発展、技術化できるか、企業や研究とも協力して、貢献していくことが、これから必要なのではないかと思います。

修了生アンケートのデータ

(平成23年度修了生；平成26年度末に実施)

今回、アンケート対象となったのは平成23年度理学専攻修了生で、その多くは平成22年度入学であり、大学院改組（平成19年度）後4年目の学年にあたる。アンケートは、平成26年12月20日に郵送し、1月末締め切りで返信を依頼した。平成23年度の修了生は76名であり、そのうち7名から回収された。回収率は9%と回収数が少ないため、データのみを示す。

理学部大学点検評価委員会

集計結果

1. あなたの所属していた分野を下記より選んでください。
- A. 数学分野 B. 物理科学分野 C. 生物科学分野 D. 地球科学分野
E. 情報科学分野 F. 応用化学分野 G. 海洋生命・分子工学分野
H. 災害科学分野 I. 連携分野（植物分類・地理学分野）
J. 連携分野（海底資源科学分野）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	9	10	13	8	5	14	10	5	1	1	76
回収件数	0	0	1	1	1	0	3	0	1	0	7
回収率(%)	0	0	8	13	20	0	30	0	100	0	9

2. あなたの現在の職種(大学院等で学んでいる方は学年)をお教えてください。

- 生物科学
・公務員
- 地球科学
・医療系事務（治験コーディネーター）
- 情報科学
・会社員
- 海洋生命・分子工学
・技術・開発
・3年
・技術補佐員

○連携分野（植物分類・地理学）

・公務員

3. あなたが現在お住まいの地域をお教えてください。

A. 高知県

B. 高知県以外の四国地方

C. 四国地方以外

	A	B	C
数学分野	0	0	0
物理科学分野	0	0	0
生物科学分野	1	0	0
地球科学分野	0	0	1
情報科学分野	0	0	1
応用化学分野	0	0	0
海洋生命・分子工学分野	2	0	1
災害科学分野	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学分野)	1	0	0
連携分野(海底資源科学分野)	0	0	0
合計	4	0	3
合計 (%)	57	0	43

4. 高知大学大学院理学専攻で学んだことが現時点で役に立っていますか？

A. とても役に立っている

B. おおむね役に立っている

C. あまり役に立っていない

D. 全く役に立っていない

	A	B	C	D
数学分野	0	0	0	0
物理科学分野	0	0	0	0
生物科学分野	0	1	0	0
地球科学分野	0	0	1	0
情報科学分野	0	0	1	0
応用化学分野	0	0	0	0
海洋生命・分子工学分野	1	1	1	0
災害科学分野	0	0	0	0

連携分野(植物分類・地理学分野)	0	0	1	0
連携分野(海底資源科学分野)	0	0	0	0
合計	1	2	4	0
合計 (%)	14	29	57	0

5. 4でAもしくはBと答えた方にお聞きします。具体的にどのような点が役に立っていますか？

○生物科学

・一番はエクセルでの表やグラフの作り方。生き物に関すること（イノシシやシカ等）はお客様との話題づくりに役立っている。

○海洋生命・分子工学

・実験する時の考え方が役に立っているかなと感じます。

・装置の使用方法や実験に対する考え方や流れなど、研究に必要なことが学べた点。

6. 理学専攻在学中に学んでおけばよかったことはありますか？

A. ある

B. ない

	A	B
数学分野	0	0
物理科学分野	0	0
生物科学分野	1	0
地球科学分野	0	1
情報科学分野	0	1
応用化学分野	0	0
海洋生命・分子工学分野	3	0
災害科学分野	0	0
連携分野(植物分類・地理学分野)	0	1
連携分野(海底資源科学分野)	0	0
合計	4	3
合計 (%)	57	43

7. 6で「ある」と答えた方にお聞きします。具体的にどのようなことでしょうか？

○海洋生命・分子工学

- ・高分子化学、分析化学
- ・研究の進め方をもっと知っておきたかったです。
- ・自分自身の研究分野以外の分野。

8. 現時点で考えて理学専攻で開講してほしかった授業はありますか？

- A. ある B. ない

	A	B
数学分野	0	0
物理科学分野	0	0
生物科学分野	0	1
地球科学分野	0	1
情報科学分野	0	1
応用化学分野	0	0
海洋生命・分子工学分野	1	2
災害科学分野	0	0
連携分野(植物分類・地理学分野)	0	1
連携分野(海底資源科学分野)	0	0
合計	1	6
合計 (%)	14	86

9. 8で「ある」と答えた方にお聞きします。開講してほしかった授業の内容について、具体的に記述してください。

○海洋生命・分子工学

・実験機器（NMR, IR, HPLC, MASS）の具体的な使い方や使用方法、どんな機器があるのか等研究で使用する時以外、知る機会がないため。

10. 修了後3年が経過した現時点で考えて、高知大学大学院理学専攻で学んでよかったと思いますか？

- A. とてもよかったと思う B. おおむねよかったと思う
C. あまりよかったとは思わない D. よかったとは思わない

	A	B	C	D
数学分野	0	0	0	0

物理科学分野	0	0	0	0
生物科学分野	1	0	0	0
地球科学分野	1	0	0	0
情報科学分野	0	1	0	0
応用化学分野	0	0	0	0
海洋生命・分子工学分野	2	0	1	0
災害科学分野	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学分野)	1	0	0	0
連携分野(海底資源科学分野)	0	0	0	0
合計	5	1	1	0
合計 (%)	71	14	14	0

11. 理学専攻の今後の教育や果たすべき役割について何かご意見がありましたらお書きください。

○生物科学

・生物学は生活に直結するため、お客様との人間関係を築く点で役立っている。農村や集落のかかえる問題について、現状を広く学生に勉強してほしいと思う。私はこういった点を学べたので、大学での生活にとっても満足している。

○地球科学

・大学院理学専攻で、自身の専攻していた分野の研究内容は現在の仕事内容に直接役立ってはおりませんが、研究を通して学んだ物事の捉え方、考え方は仕事にも役立っていると感じています。とても良い環境で学んでくることができたと思います。就職活動では大変な思いをした頃もありましたが、今ふり返るとそれも良い経験だったと思っています。ありがとうございました。

○海洋生命・分子工学

・4年で、卒論を書かずに卒業できるコースができたが、やはり卒論はしっかり書いて(必須)、卒業した方がよいと思う。社会に出て、卒論のことを聞かれることもあったし、やはり四大に行ったのなら、一つのことを成し遂げた経験をもって、社会に出た方が、大学4年時(修論時も)の苦勞が役に立つと思う。

・大学院になると座義の時間が夜20時以降になることがあり、遅い時間は善しくないと感じました。主専門以外の勉強をする余裕が持てるようなカリキュラムにしないと、幅広く活躍する人材を育てられないと感じます。また、研究室においては就活より研究をさせる(重じる)ところがあり、自由に就活が出来ていない人がいました。就活時期はもっと学生に自由時間を与えても良いのではないのでしょうか。満足に就活出来ず、就職しても辞めたいと考えている人が居ます。

